

1月の行事

- 1日 元旦ミサ 10:00
- 6日 初金 "
- 15日 委員会 ミサ后
- 壮年会 "
- 婦人会 "
- 29日 信徒総会 "



第133回

カトリック中和田教会
 広報委員会発行
 泉区 中田町 2701
 TEL 045-803-6141
 1989年1月1日

ひとつの段階 ③

山崎正俊

◎ これまでの私は、とても承服できにくい行動があることを知ると、それが、その置かれた境遇や時代の制約のせいだということでもあり、ちょっとした考えのたらしなさからのものだとわかっていのに、信仰による生き方とかかわっているのだけに、許せないという思いで胸が痛んだ。ある人はそのおこないと、その良い生き方や考え方によって、多くの人たちの人生を偉大なものにする切っ掛けを与えているが、良い点だけを集めると良い人に見えても、いくつかの致命的な深手を受けた人たちがいて、そのような悪い点だけを集めると、まったくの悪い人に見えてくる。他の人の知られていないだけなのに、その人がたんに人に知られてしまっていることのために、こんな人からまで、何かの模範を引き出さねばならぬという義理はない、と考えるのだ。

◎ 欠けたところのない人は、誰も見たことがなく、私にも、その内には同じような、いやらしいところがすくなくない。それでも、自分だけは見離そうとしない。右に行き左に行き、すこしでも霊的な深まりを得ようと願いながら、そのほかには何ができるかなどと、いなおっている。

◎ なんと、私は、七十年を過ぎて、やっとそのことを覚えた。それを自分の体験として、生活の中で認めることになるのは、今朝、千九百八十八年九月二十二日の朝。眠りから覚めて、ふっと気が付いた、その時だった。――「そうか、そのお方は、いつも善意に信頼して、自分のすべてを投げ出し、他の人に尽くす道を歩かせたかったのに違いない。人はたいていそのようにして、その場所におさまろうとしているのではないか」

◎ 神様は人をお造りになるとき、永遠の判決が出されるまでに、人が自分で、最後の仕上げをするようにと、お定めになったのかもしれない。だから、自己反省とお互いの補い合いと支え合いによってだけ、はじめて、かどばったところが削られたり、たらないところが埋められたりするようになる。まっとうなものとして完成されるには、どうしてもそうしなければならぬ。そのわけで御父は御子イエズス様によって、あのような道を歩ませ、私にもわかるように、「新しい愛の旋」とその模範を、残させてくださったのか。

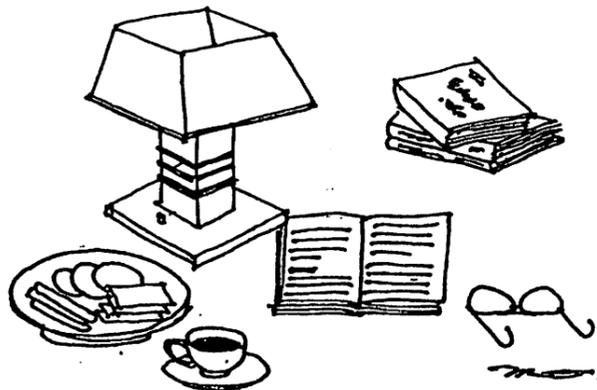
教会図書について

—ひとつの提案—

小野寺 功

ささやかながら、自分なりに何かお役に立つことはないかと考えて、教会図書の整理、充実を思い立ちました。九月の壮年会の例会で、そのことを提案したら、さっそく取りあげられ、委員会にもはかって了承を得ました(会報十一月号) 現在かなりの図書が書棚にかざられておりますが、大分古くなった本がめだちます。それに係りの人もおらず、借りだしノートもなく、どのような本を購入したらよいかという方針も立っていません。この間の壮年会の話し合いでは、出来れば青年会に依頼してやってもらってはどうか、ということでした。今その話はまだ具体化されていませんが、新年度から、ぜひその方向で推進していきたいと思っています。さしあたり現在の図書を整理して記録し、大まかに分類するところからはじめつもりであります。

現在は、図書費の予算はありませんし、新しい本の購入は無理です。しかし将来は、たとえ僅かずつでも、教会図書にふさわしい魅力のある図書を集めていきたいという希望をもっています。幸い山崎神父様は、非常な読書家で、現在も色々新しい本を紹介して下さっています。また副委員長の小谷様からは、早速に子ども向けのカatalogその他を、その都度、各種送っていただいております。心から感謝いたしております。現代はすさまじい情報化時代で、わたしたちはその洪水の中で生活しております。この忙しさの中で、そこから福音のメッセージを見つけ出すのは、実に困難です。到底個人では処理できません。ア



しかし、どんな人も、何かしら読んでおり、次のような読書経験をなさっているのではないのでしょうか。

- 1 読んでとても心を動かされた。涙なしに読めない。希望や勇気を与えられた。
- 2 自分の生き方を変えさせられ、今かかえている信仰の問題を解決するヒントになった
- 3 この感想を誰かにつたえたい。青年会、教会学校、夏季学校などで、話し合いの素材として使ってみたらどうか…等等。

福音とは、元来「よい知らせ」「よきおとずれ」という意味ですが、これは聖書に限られたものではないでしょう。教会図書の整理、充実を図りながら、こんな風なニュースの交換ができれば嬉しいとおもいます。また時には、読書会をしたり、会報の片すみをお借りして、読書感想をのせたりしたらいかがでしょうか。

このインスピレーションを、新春の夢に終わらせず、気長に少しずつ進めて参りたいと思います。よろしく御協力をお願い致します。

委員会だより

12月11日婦人会より2名出席のもと集会室に於いて開催。

- 1、64年度予算編成の件
 年度予算編成に当り必要経費内容について検討を実施した。大筋では特段異なるものはないが、
 ・神父様生活費の見直し(司教館通達による)
 ・補修費(聖堂内装補修、焼却炉更新など)
 ・教会史編さん及び、頒布費用等を勘案するが規模としては63年度の水準と同程度とする。
- 2、教会史頒布取扱いの件
 ・印刷部数 300部
 ・価格 1部1500円(予定)
 尚、販売価格については種々意見があり今後更に検討を行う事とした。
- 3、会計報告(11月次決算)
 詳細は会計又は広報委員の所にあります。
- 4、その他
 ・64年度新年親睦会について 婦人会より如何取扱うか質問が寄せられたので、壮年会に意向を打診することとした。

お知らせ

洗礼 12月24日

アナスタジア 下村 昭子
 瀬谷区二ツ橋81
 (391-5857)
 アナスタジア 松尾 秀子
 泉区中田町3361
 (801-7035)

婦人会だより

18日婦人会例会をおこないました。
 ・毎年会よりの年末恒例の寄附を下記の所へいたしました。
 カリタス、フマニタス、いのちの電話、及び、かにた村
 又、衣類に関しては、旅路の里、あまみの園、及び、マリア園よりそれぞれ、お礼状が届いております。
 ・64年度の役員の方の紹介がありました
 会長 ジェンマ、ガルガーニ 甲斐 ミヨ子
 副会長 ルチア 横塚 郁子
 書記 テレジア 大原 幸恵
 会計 アグネス 中谷 田鶴
 典礼 ルチア 森田 子工子
 アンジェラ 中町 扶美代

・地区委員
 いちよう団地、上飯田、瀬谷地区
 ベルナデッタ 山下 よし子
 踊場地区
 ユリアナ 町田 保子
 中田地区
 マリア、ペロニカ 小山 利江
 岡津、白百合地区
 マリア、アグネス 斉脇 久子
 下飯田、下和泉地区
 マリア、ミカエラ 望月 ふみ代
 ドリーム、汲沢、深谷、和泉地区
 マリア 山中 嘉子
 以上の方々です。皆様方の御協力をお願い致します。
 ・1月15日総会と新年会を行います。万障繰合わせの上多数の方々ご出席下さい。
 尚、お当番はドリーム、汲沢、和泉地区です。

編集後記



迎春
 ・書物から受ける恩恵の一つに、知識の蓄積、向上があり、これは人生に於いて最も手軽で有効な習得方法だと思います。と同時に小野寺先生が今月号で書かれているような体験も出来る素晴らしいメディアです。この「ひとつの提案」が成功するように皆様のご協力をお願いいたします。

・新しい年を迎えて心を新たに、何かにチャレンジしようと心に決めました。
 人は目標を持つこと、それを達成させる為に努力しその結果、活力が出て生活に張りが出てくるものだと思います。内容は自分の為、どんなに小さい事、何でもいい。要は決めたら行うことが大切だと思います。
 今年は、教会史編さんの年でもあります。これも目標の一つにしたいと、思っています。

3月の行事

5日 委員会 ミサ後

19日 壮年会 "

婦人会 "

レジオ 10 17



はかわだ
会報

第 135 回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1989 年3月5日

「愛の献金」に就いての
私の思い込み

山崎正俊

◎ 教区への特別献金に就いて、この頃、或るお方たちにとっては、ちょっとした反省期に入られたというわけか、あの七つのそれぞれがどのようにされているものかを、解説してほしいと言われた。私もよくはわからないと答えたら、失笑を買ってしまった。短い言葉で納得していただくには正確なことを知らなすぎるように、とっさに感じたからだが、「教堂のもとにある教会が選び、日本の司教たちも承認している奉仕の、ひとつの形式」ということしか話せなかつたらう。

◎ 献金は自由に自発的に、なされるはずのものであるが、この種のものは、定期的に継続しておこなわれる必要のあるものだから、なかばは、強制しているような形にも見える。それでも、私はそれを、「私をその気にさせる切掛け」になるものとしている。それがどのように使われるかという点においては、無駄なことはしていないだろうと信用したいところだが、これも人間の集りだからという欠点もあるかもしれない。でも、そこまで心配することは、疑いすぎの気もしていた。

◎ よく批判され易い点は、中和田教会では、いつも、きまった額を献金されることにきめられているようだが、それよりも、その度び毎に、その趣旨を書いた箱を出して集めるほうが、教育的意味からも、より良いのではないかということ。これに就いては、家計にゆとりがない方が多いようなので、毎月いくらかを定めて、取り除け積み立てるのも、ひとつの方法かもしれないと、私には思われる。額の多少よりも、はっきりとした意向をという議論には、もっと時間を掛けたい。「貧者一灯」の大切さには、返す言葉もないしそれは聖書にも、イエスさまの愛の精神にも完く合うものだが、やはり現実的には、もっと考えてあげなければならぬ教区である。

◎ それぞれの献金に関する説明は、「教会所在地 89」の15頁から37頁に略記されているので、それをお読みになってくださるようお願いしておく。もっとお知りになりたいならば、これからは、それぞれの献金の日の頃に送られてくる(はずの)資料を、コピーするので、それを見ることにしてほしい。-- 献金にはすべて、厚い祈りの心もこめてください。

私の横顔

清水 聖

私ことではありますが、日頃家庭内で妻や娘に『御奉仕出来る時にはしなさい』また、『人さまの為に良い事を』、『毎日曜日御ミサを受けなさい』と、偉そうな親父振りを発揮していますが、一時期、企業戦士の端くれとして、昭和五十三年より、単身赴任の連続。福島第二原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、宮城県角田市の航空技術研究所と約六年間すっかり教会を御無沙汰の生活をした事もありました。たまの帰郷の折、御ミサを受けまた現場に戻るといった、さみしい暮らしを経験をしました。しかし現在は妻と連れだち幸いにも教会に来れるようになりました。娘は宮下神父様在任中、日曜学校の御手伝いをさせて頂き良き友に恵まれました。最近では家内が婦人会の役員をさせて頂きました。我が家で御奉仕をしていないのは私一人になりました。昨年栄光学園での横浜教区設立五十周年祭に出席させて頂き大勢の信徒の集りに目に見てびっくりさせられると共に、心強い思いが致しました。私たち一人一人に、『新しい共同体をめざして』という、テーマというか、宿題が与えられているのだと...。小教区にて(各教会)いよいよその計画、実践と押し進めるというこの大事な時に、浅学非才の私が、壮年会の会長に御推挙されました。力不足と思いますが、会員諸兄の小間使いとして何らかの御役に立てばと柄でもない、会長を御引受け致しました。幸いにも小野寺氏滝川氏と最高のパートナーに恵まれました事を感謝して居ります。本来ならば、ここで立派な「抱負を並べて私共の意志とする処を発表するのが筋であります。なにせ教会の役員は初体験、まずは先輩諸兄の敷いたレールの上を一步一步あるかせて戴きます。会員の方々は、どなた様を見ても、ひとかどのサムライ、見識を、もたれた方の集りです。是非、お召しのカミシモを脱いで楽しい会話の場とすると同時に『新しい共同体をめざして』、何をどう実践していくか、積極的に計画し実行する場に出れば、と願っています。俗な言葉で『子供は親の背を見て育つ』と言います。我々壮年会のメンバーは、良き信者になる様に努力すると共に、良き社会人、良き良人、良き父親、になる様頑張りましょう。責任重いです。とにか、年はとっています未熟者です皆様の暖かいご支援、御協力によりまして、無事務められる様、祈って下さい。

要理学校からのお願い

昭和六十三年度要理学校もあとわずかになりました。まだ寒い日がつづきますが子供達は元気に頑張っています。しかし、最近日曜日のミサにくる時間が皆遅いので、要理勉強の前に、ミサの十分前には教会に帰るようにと話しているのですがやはりミサの始まる時間ギリギリにくる子が多いようです。その為に侍者当番がだいぶくるってきています。日曜日早く、くる子が侍者をどうしてやるようになってしまい、同じ子が毎日曜日やっています。寒い朝は大人でも早く起きるのはつらいものですが、当番の時は、御家庭において早く出掛けるように御協力のほどお願い申し上げます。なお侍者の当番表は聖堂の出入り口のところに先着者、聖歌の予定表といっしょに書いてありますので、御父兄の皆様方も当番表を見ていただき、当番の時は注意していただきたいと思ひます。

顧問が語る中学生会

「中学生」と一口に言っても、その立場はそう簡単に割り切れません。小学生の延長のようで、高校生の準備のようです。また、中1と中3、男子と女子では大きく違います。なにしろ微妙な段階です。こんな中学生が一つにまとまっているのが現在の中学生です。まとまるというよりも渾然一体といった方が適確かもしれません。今年度は幸い中3が多くて、よくやってくれましたが来年度はその中3が高校生になってしまい、半分の人数となってしまいます。そこで、中学生の皆さんは、今まで以上に中学生会に参加して欲しいと思います。今のところこれといった活動もなくおしゃべり主体の例会ですが、その中から自分なりの意見を見つけて述べられるように努力してみましょう。期待しています。

小山 雄悟

壮年会だより

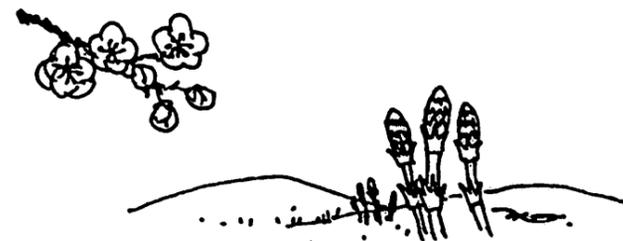
- 2月19日に例会が開かれました。
- ①会則、名簿、連絡網等の改訂版の配布に関しての要点説明。
 - ②2月5日委員会の概要説明
イ、四旬節諸行事
ロ、宮下神父様叙階50周年お祝いの件
ハ、子供会リーダー研修会の件
ニ、その他
 - ③懇親会開催について
日時 3月19日 9時のミサ後
まず会員の皆さんで庭の手入れ、終了後懇親会を行います。
 - ④愛の献金について
真の献金の意を理解させる為に献金箱設置(概要説明)と委員会方式との二本立にまとまりました。
出席者 10

委員会だより

- 2月5日、集会室に於いて開催
- 1、四旬節諸行事の件
・灰の水曜日(2/8)枝の主日(3/19)
・十字架の道ゆき(2/10)
・聖週間(3/23~3/25)ミサ 20:00~
・御復活祭(3/26) ミサ 9:00~ミサ后
親睦パーティー開催を予定。
 - 2、宮下神父様叙階50周年記念の件
本件は三笠、末吉、中和田教会の合同で行う事に各教会の神父様方で話合われて決定した尚、細部に付いては、委員会が三笠教会と連絡をとりながら進める。又、当教会はこれとは別に霊的花束をお贈りする事としお祝日(3/21)前後に宮下神父様にお届けることとした。
 - 3、子供会リーダー研修会の件(井上委員)
藤沢教会に於いて開催、当教会より2名参加費用と共に委員会に於いて了承された。
 - 4、会計報告(1月次決算)
詳細は会計又は広報委員の所にあります。
 - 5、その他
・信徒総会の折指摘のあった「愛の献金」の有り方及び「教会史の配布の仕方」については更に壮年会、婦人会で検討願う事とした。
・教区内教会の主任司祭の移動が予定されている旨神父様より紹介があった。(4月以降)
沼津教会 ←→ 逗子教会
千代田(静岡) ← 戸塚 ← 他教区
・今後教会報に教会用語その他皆様からの質問に対する解釈、解答等を掲載することとし、より一層の意思疎通を計ることとした。

婦人会だより

- ・2月19日、33名参加のもと例会を行いました。話合いで決定しました事は
電気ミシン1台とロックミシン1台、電気ポット1台を婦人会備品として購入する事に成りました。
- ・行事予定 5月遠足の予定
10月バリーの予定
11月死者の月さがみの霊園へ参り
- ・3月25日(土)10時より大掃除と御復活祭の御作りを致します。
- ・3月の例会の当番は岡津地区です。



お知らせ

- 3/12(日) 黙想会とゆるしの秘跡
木村神父様(戸塚教会主任)
- " 司祭叙階式 14:00~於 戸部教会
- 4/8(土) 宮下神父様金祝 16:00~三笠

4月の行事

2日 委員会 ミサ後
 7日 初金ミサ 10:00
 15日 クリア集会 13:30
 16日 壮年会 ミサ後
 婦人会 "



第136回

カトリック中和田教会
 広報委員会発行
 泉区 中田町 2701
 TEL 045-803-6141
 1989年4月2日

夢を追うひとたち

山崎正俊

◎たとえば、アフリカの音楽を、アフリカでよく使われている楽器で、教えられた通りに忠実に正確に演奏しているだけならば、多くの人達からいくら喜ばれても、ほんとに上手にできるとしても、それはアフリカ人のもので、日本に生まれそだった私のものにはなりません。その歴史的経験からいっても、アフリカ人のアフリカでの伝統には、現在ではどうも及ばないし、ものまねの域を出ないからです。

だから、その楽器を一応は学ぶのですが、それを使うときには、私の使い易い形で、さかさまにしたり裏返しにしたりすることも試みるというわけで、私の音を私流に出す。それを、他の楽器と勝手気ままに組み合わせたりして、新しい曲を作り続ける。気を張りつめた、たいへんな体力を消耗する作業でさえあるのです。

はじめには、私が「演奏する」というつもりでしたが、いまでは、すでにある音を「発見させていただく」のだというように感じており、大切な子育てにも気を配りながら、私は阿修羅(アシラ)のようにドラムを叩き、音を出し続けているところなのです、現実には。

◎俺が故郷は、寒くて雪の深いところだけれどそのつらいときを過ぎねば、あの楽しい楽しい祭りの日は、来ないんだ。人生はいやなことばかりで、いいことなど、ちょっぴりしかないけど、いっしょうけんめいにやっておれば、年に一度のにぎやかなお祭りに巡り会える。どうもうす汚くだらしないから、みかけは良くないし、貧乏たらしくて何の取り柄もないのだが、先のことなど察しがつくようなものだが、いえることは、大きな夢を描いて、何とか頑張ってはいるということ。――たよりないが何となく憎めないといった謎(ナゾ)を、内に秘めたお人好し。失敗ばかりしている。それでも、投げ出さなかった。それで、それなりの者になれた。その真にある頑固さと気の弱さが、優しさとなってにじみ出し、粗野で変わった風格が練られて熟れたのか、どこかひと味ちがった深さをたたえるようになってもいる――【板極道】という悪口には反対できなかったが、幼い日の夢だけはつらぬいた【田舎者】――私には嬉しいことだ。

大学教区大会感想

個人的理由のために、最後の夜とその次の日は参加できなかったのだが、メニューはすべてに参加することができた。

このような合宿での目的には、いつも話し合っている人とは違った人々との意見交換がある。もちろん半年間会えなかった友達と会う同窓会的なそれもないことはないが。スタッフの人々は、僕等が意見交換をするために、様々な切り口を提議してくれる。それからまた様々に思いを切り開き意見を出してゆくが、他の人々もまた負けずにまったく違った意見を出してくる。そんな中で考えた事を実行しよう。しかしその前に、世界や日本のしくみや常識か、又は、自分が決め信じる事がいったいどちらが真理に近いのだろう。

文責 下山

委員会だより

3月5日集会室に於いて壮年会1名、婦人会2名各代表出席のもとに開催。

- 復活祭親睦パーティ(3/26)再確認の件
- 宮下神父様叙階50周年パーティの件
 - 1)3/21三笠教会に於いて16:00～ 尚出席者については委員長より各会長に要請を行う。
 - 2)4/8 三笠教会に於いてミサ、及びパーティ(詳細は未定)
- 共同告解(3/12)木村神父様(戸塚教会)
- 愛の献金について

教会の方針としては、毎月の献金はそのまま継続し、新たに献金箱を設置する事とした。(箱が出来次第実施する予定)
- 高校生会で小冊子(贖はく、隔月発行)を編集することになり、要請があれば協力することとした。
- 庭の手入れ用の道具購入に関して壮年会より要請があり、了承された。
- 会計報告(2月次決算)

詳細は会計又は広報委員のところにあります。

壮年会だより

3月19日のミサ後、壮年会の懇親会が開かれました。

13名のメンバーが集まり、まずマリア様の前の花壇の草とり作業に汗を流しました。マリア様もすっきりしていく花壇にはほほえみかけているようでした。

続いて集会室に移り、会長の清水さんより3月5日の委員会の概要説明がありました。

そして、いよいよ楽しい会食。今回は小谷さんのお取りはからいにより、とびきりおいしい「京うどん」を煮込みながら、飲みものをいただきました。途中から山崎神父様も加わり、楽しい語り花を吹きました。

会費は、しめて一人1040円。「年に4回はやりましょう!」、「もっとみんなに呼びかけましょうよ!」などと言合いながら、懇親のひとときの幕を閉じました。



婦人会だより

3月19日の例会は27名出席のもとで行われました。

・電気ミシンとロックミシンを購入致しましたので、今後有効に、ご利用ください。

使用後のおそうじも宜しくお願い致します。

3月25日御復活祭前日のゆで卵作りと、大掃除に多数ご参加下さいまして有難うございました。

・バザーに向けて毎週火曜日 10時より手芸

木曜日 午後から洋裁の作業をおこなっております。皆様のご協力お願い致します。

・次回4月16日の例会お当番は中田地区です。



お知らせ

◎ご結婚 テレジア 位田 恭子
 久留 哲郎
 4月1日 於 東京 麹町教会

◎転入
 ・ヨゼフ 浜本 広幸 戸塚教会より
 ベルナデッタ・マリア 奈於
 住所 中田町1686 東原荘 22号
 電話 801-3294

・ヨゼフ 橋本 賢二 大和教会より
 マリア 宏美
 レジナ・マリア知佳 (85 8/23)
 クララ 術佳 (89 1/27) 3/19洗礼
 住所 上飯田町2670 いちょう団地 39-207
 電話 801-5634

◎転出
 ・マリア・インマクラータ田辺いつ子
 〒489 愛知県瀬戸市松原町 3-118-5
 ・マリア・エリザベト内藤 和子
 〒276 千葉県八千代市八千代台西 10-24-7



編集後記

・今年は例年になく春暖の中でイースターを迎える事が出来ました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。復活節は聖会暦の中心であり、復活の主日は祝日中でも最も重要な人祝日です。この復活節を有意義なものと思いたいと思います。

・大学教区大会感想のなかで述べられている真理について、真理とは言替えれば普遍という意味であって、国とか、その時代での常識とか、また自分で決定し、信じた事柄が自分の立場及び時間の経過と共に都合の良いように変化して行く様な内容ならそれは、真理とは言えないのではないのでしょうか。人は常に不安定、不完全な状態で人生を送っています。だからこそ、真理、より普遍的な事柄にひかれ探求心を持つのだと思います。いずれにしても「倫理的行動」これが基本に有れば、悔いる事は無いのでは、と思います。

5月の行事

7日 委員会 ミサ後
21日 壮年会 "
婦人会 "
青年会 "

レジオ 12 19 26



第137回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1989年5月7日



「母なるもの」に就いて ①

山崎正俊

その人は、かなりの有名人であり、信頼されてもいる。だから普通の人と似て、いくらかのうぬぼれがあり、しかも、非難をさきどりして、居直りもあるように、私には思える。その言い方は、ありそうな意味を含んでおり、それに反発していても、思い当たるところがあるので、恥じ入らざるを得ないほどで、そのどろどろとした体臭に当惑させられ、そうなる、関わった者はそれだけで、一段とお下劣であることを証拠だてられ、格付けされてしまう。勿論、その人は、そのようななりゆきは自業自得のことで、「私とは、何んのかかわりもないこと」と、うそぶくことになっている。――私はマヌケでしてね、たいした考えがあったはずもないのですが、おもちゃの刀をさして歩いていたものですよ。幼い日にそうしたことがあったのは、いとしい女房にさえ云っていないのですから、いくら君の頼みでも、ことのわけをそう簡単に、解き明かすわけにはいかないね。

私も、もう若くはない。これからは、老いるだけだ。だから、老いても衰えぬために、新しいことにチャレンジして、いろいろと習い事をしてやる。まず、社交ダンスをね。それから画だよ。これは楽しみとしてね。囲碁。これには、宇宙棋院の名譽会長をつとめておる。その他に、演劇集団にも関係しておる。本職も大切だが、バランスを保つためには、いろんなことをしたほうがよいからね。私はね、堅いだけの人では好きになれないのだよ。いくら古今東西に通じる大学者であってもね、プロ野球のことなど語れない、競馬の予想については話し合えないと云ったお方とは御近所したくないと思うのでね。私は、いかにも堂々とした近よりがたい人物でもあるかのように誤解されたくないの、音楽に関して云えば、ロックとクラシックとを一緒に愛する者でありたいのよ。たとえば、織田信長を書くにしても、彼に最も愛されたひと、三人の子をなした女人だけは抜かしたくないのだし、そうでないと、私は偽善者と同類になってしまう。私のような「ぐうたら」が身を守るには、堅苦しいところからはすべて逃げまわるような、ヒキョウミレンさに徹するよりも、よい道が他にあるとでも云うのかね。

洗礼。知らないうちに、受けさせられていた。

『宮下神父様の金祝に出席して』

清水聖

三笠教会のカンベン・ハウド神父様、山崎神父様の介添えにて、宮下神父様の御ミサを、受ける事が出来、幸いに思いました。

御説教の中で神様のお恵みで、まだ生かされている、お召しがあるまでマリア様を何時も祈り、皆さんの事を何時も祈っていますよとお話になっていました。

御ミサの最中になぜか神父様との出会いを思い出しました。

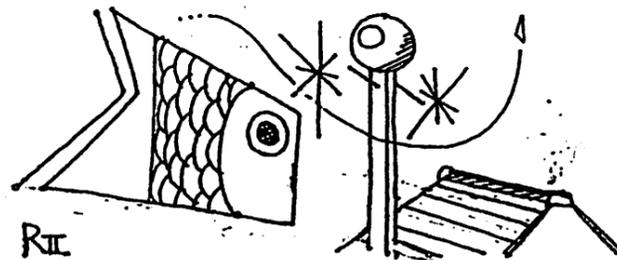
中和田教会に赴任され、まもなく突然に私共宅にいらっしゃいました。びっくりしました。教区内の信者の家を訪問され中和田教会の地域性を理解される為か、私共の様なダメ信者に、活を入れる為か、勿論後者でしょう。仏壇の中にある十字架を見て祝別をして戴いたのが印象に残っています。其の日の会話は何を語ったのか浮かんできません。帰りがけに、神父様が大きな目をくりくりさせて祈ることを忘れない様にと話された事が思い出されました。つつがなく御ミサが終わりました。

三笠教会の中尾さんの司会にて幼稚園の二階会場で楽しいパーティーが開かれました。上は九十歳位の高齢者から下は二十代後半位の年齢範囲の広い集りでした。神父様の御活躍御人柄を物語っているのでしょうか。数々の心のこもった御祝詞。

其の一つ一つに私共出席者と神父様との出会い神様との結びつきを思い出された事と感じました。三々五々又は集団で神父様を囲んで写真を撮り歓談をされ、司会者が閉会の幕を降ろすのに苦勞をしていました。

月並ですが、益々神父様には健康に留意され神様のお恵みを沢山受けられる様に祈ります。

平成元年四月十六日記

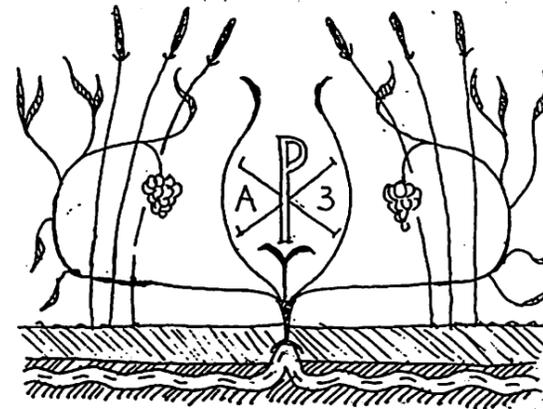


R.II

委員会だより

- 1、'89年秋バザー開催の件
- 2、宮下神父様お祝いの件
- 3、常設献金箱設置の件
- 4、月次会計内容検討、維持審議とする理由、消費税発効による適正会計処理の検討
- 5、横浜教区宣教司牧評議会 中和田教会の属する第5地区代表メンバーについて
三浦 功 神父 (大船教会)
石川 シスター (清泉院長)
中沢 栄一 (大船教会委員長)
川村 栄子 (藤沢教会)

以上の方々が選出されました。尚、戸塚 大船 藤沢 鍛冶ヶ谷 片瀬 及び中和田の各教会が参加致しました。



婦人会だより

4月16日、30名出席で婦人会例会を行いました。4月8日の宮下神父様金祝ミサ、パーティーに婦人会より18名参加して戴きありがとうございました。各教会より132名が出席して盛大に行われ神父様も大変お喜びでした。

例会後、フマニタスエプロンを販売致しました。5月25日(木)に婦人会遠足を新緑の箱根へ計画いたしました。行先は箱根原生花園、畑宿奇木細工見学を予定、立場バスセンター8:30出発、帰着4:30予定です。会費4000円(バス代昼食共)多数ご参加をお待ちしています。申込みは聖堂入口の用紙にご記入下さい。

次回5日例会は下飯田、下和泉地区の方です。よろしくお願い致します。



R.II

壮年会だより

4月16日ミサ後、壮年会の例会が開かれました。出席者は11名。最初清水会長より、委員会からの伝達事項と、4月8日の宮下神父様の叙階50周年パーティーの様子が報告され、続いて以下の事柄について話し合いをしました。

- 1、献金箱常設の件 小谷氏寄贈による献金箱が設けられる予定。
 - 2、バザーの目的についての討議 親睦もよいが、将来予想される教会の修繕費とか、具体的目的を設定した方がよいのではないか。
 - 3、教会広報の件 原稿の集りをよくするために協力したい。二人位のサブを置いたらどうか。諸報告以外に、もっと自由な意見や感想をのせるようにしたい。
 - 4、たまには外から講師を呼んで、新鮮な問題意識をもつようにしたらどうか。
 - 5、教会用シルバーシートの件 小谷氏より、ごミサに参加されるご老人のため、座ったままであずかれるシルバーシート用椅子を、10個寄附したいという申し出であり、皆さんの賛同を得ました。
 - 6、ヨハネ、ヴィアンネ山田孝信さんが、新規会員として入会され、初参加して下さいました。
- 以上、なごやかな中にも、積極的な話し合いがもたれ、充実した一時を過ごすことができました。

小野寺 功記

青年会よりお知らせ

今年度の要理学校及び中高生会の顧問の体制が決まりましたので、お知らせ致します。

要理学校	小山 康正	小山 雄悟
中学生会	伊藤 久輝	大宮 桂子
	吉川 裕子	
高校生会	山本 仁	下山 肇

なお、夏休み等は特別な体制を組むことになると思います。今後ともよろしく願いいたします。

お知らせ

- ◎ご結婚
・5月14日 (中和田教会・午後2時)
マリア 中谷 明子
野場 治
- ・5月26日 (中和田教会 午前10時)
アグネス 古田 順子
今井 幸次



6月の行事

- 4日 委員会 ミサ後
- 18日 壮年会 "
- 婦人会 "
- 青年会 "

第138回

カトリック中和田教会
 広報委員会発行
 泉区 中田町 2701
 TEL 045-803-6141
 1989年6月3日

「母なるもの」に就いて ②

山崎正俊

母が、その心の隙間を埋めるために、すすめられて通うようになったのが、カトリック教会だったので、母の喜ぶ顔見たさに、小学生だったやんちゃなはずら好きの私も、洗礼を受けることを承知したのだと思う。だから、何か道を求めて入信したというような、御大層なことではない。その点は、ちょっとテレクサイわけだ。友人たちはそれなりに、選んで受け入れているわけだから、えらいところがあるような気がする。たまたまカトリックであったから、カトリックの教えに強く傾いていたのにすぎないし、他の人とちがうところは、「そのまえに悩んで求めたということがなく、一度は重荷に感じていたことがある」という経歴のせいであり、「逃がれようとしても、逃がれ切れなかった」ということにも由るのだろう。

これと云って取り柄もない、ほんやりした子だったのだが、たまたま作った詩が、なかなかよかったとかで、はじめてはめられるようなところまできて、それを母が喜んで大事にして持ちあっていたということもあって、他に何んにもできることがなかったんで、小説書きになってしまったということなんだよ。仕事をしているときには、誰でも部屋に入らせないようにするほど神経質になってしまうのだが、この頃も母の夢を見ると、その母が部屋に入ってきて来るのだけれど、ちっとも邪魔にならないし、何となく暖かいものにつつまれて、かえって安らぐのだよね。ほんとに不思議な気がする。そのやさしさを、「母なるもの」としてまとめたことがあるのだが、これこそが日本的なもの、日本人の心の底に流れている、まことの力の源泉なのではないかと思うよ。おそらく、そのために、その信仰がキビシリよりもアタタカリを求めることになり、カタサよりもヤツラカリを好むようになっていくのかもしれない。――

この作家を、何んとかうとましく感じるところが、私にはあった。けれども、うらやましいと思うところもある。母のことを、これほどに懐しく思い出すことが出来ないからだ。こんどこそはこんどこそはと、反省するばかりで、その域を抜け出せず、道を求めて生きているはずなのに、生まれてすみませんと、謝るしかないということに終わりそうなのが、心残りです……

壮年会だより

5月21日のミサ後、11名の出席で、壮年会が開かれました。今回は、以下のような報告や討議がなされた後、清水会長の「いっばいのかけそば」の朗読がありました。

- 1、委員会の概要の報告と意見交換
 ミサの開始を9時ジャストにしたい。しつけの問題でもあり、早めに来て祈りをして待つようにする。等等。
- 2、教会報の原稿の収集と内容の充実を
 広報委員より「教会報は、教会活動を発展充実して行くために、なんとしても続けたいが、原稿が少ないときに困る。内容を幅広く、自由にすることやサブを置くことなど考えてきたが、具体的にどう原稿を集めたらよいかどうか？」と提案がありました。長時間の熱心な討議がなされ次のような具体策が出されました。
 - ・広い視野を持ち、未信者にも読んでもらえるものにする。(例えば、中谷さんの結婚式の模様。詩や俳句。)
 - ・壮年会の三役が中心になり、原稿集めをする。
 - ・青年会に、ねた取りやカットの手伝いを頼む。
 - ・各会に、従来の「だより」以外にも、原稿を依頼する。
 - ・大勢に書いてもらう、カットを多くする。(大勢が読んでくれる。)
- 3、「横浜教区育教司教評議会」の報告
 5月7日、大船教会で開かれたこの会に、清水会長と丸田さんが参加されました。信徒の養成、青少年の司牧、アジアとの関わりについて、それぞれ特別課題が提案された後、「大人の信者になろう。」「信者がそれぞれ役をもって働こう。」「ミサの場に新しい工夫を加えよう。」「リクレーションをしよう。」「等の話し合いがなされました。
- 4、「いっばいのかけそば」の清水会長の朗読
 我々11名の壮年会全員が、目に涙をためて聞き入りました。短編です。みなさんも是非読んでください。

委員会だより

5月7日、壮年会会長及び婦人会より2名出席のもと、集会所に於いて開催。

- 1、山崎神父様聖名の祝日(5/25)の件
- 2、先唱の件
 ミサ中の先唱に関して個人的に協力したいとの申出があり、委員会としても前向きに対応する為に、典礼委員の萩原さんに調整して戴く事とした。
- 3、教会案内板の訂正の件
 ミサの時間が案内板の記述と違っていた為に間違えて来られた人がいたとの事。(婦人会より)早急に訂正する事とした。
- 4、ミサ開始時間の件
 未だ改善されていない点があり、関係各位においては、再度留意して戴きたい。
 - ・ミサ前の告解の時間厳守。
 - ・ミサ答担当者の無断欠席。
 その他の項目も有るが特に上記2項目は本人及びその保護者の自覚が無ければ実現出来ない問題なので是非ご協力をお願いしたい。
- 5、会計報告(4月次決算)
 詳細は会計又は広報委員の所に有ります。
- 6、山崎神父様出張時留守番の件
 6月下旬及び7月中旬に予定されているが、詳細が決り次第発表するが、今年もご協力をお願いしたい。
- 7、研修会出席の件 (井上委員)
 教区主催の教会学校リーダー養成講座の第2期講座(6月期)に関して前期に引続き2名参加する。

婦人会だより

5月21日 婦人会例会28名出席。
 委員会報告の後、バナーの準備、制作品について話し合いました。

奉仕日に参加して下さる方、又お家で協力して下さる方、有難うございます。これからは可愛い小物類や役にたつ袋物等手芸制作してゆく予定です。皆様のアイデア等ございましたら役員までお寄せ下さい。また、時間の都合つく方がいらっしゃいましたらどうぞご参加下さいませ。

5月25日木曜日、箱根へ遠足に行きまして。時折小雨の散らつく中、バスにて新緑の山々の間を通りぬけ湖生花園では街なかではお目にかかれない珍しい花ばなを鑑賞し、芦ノ湖湖畔にて軽食は名物ワッパめしと雲助汁を戴きました。帰りは山の上ホテルの庭園でつつじとしゃくなげの花を見物し、畑宿の寄せ木会館では、さめ細かな色調伝統ある寄せ木の工芸品を見学し美しい作品が出来るまでの工程も職人さんに説明して戴きました。帰路、バスの中では皆さんで楽しく合唱しながら予定通り無事帰宅いたしました。参加者は23名でした。

次回例会は6月18日、当番は「飯田いちょう団地、瀬谷の方よろしく願います。

お知らせ

- ◎教区司祭の研修会
 6月26日(月)～7月1日(土)
 於 東京イエズス会黙想の家
- ◎ 転出
 テレジア 中浜 幸恵(さゆえ)
 滋賀県近江八幡市北ノ庄野615
 滋賀厚生年金休暇センター 長期棟
- ◎ 転入
 ミカエル松本 一郎(上智大・終3)
 泉区中田町1563-5
 (802-9261)
- ◎ 死去
 6月2日
 ・マリア 光藤 菊江
 通夜 6月3日 19:00～
 葬儀ミサ 4日 12:00～
 共に 中和田教会に於いて
- ・5月14日
 マリア 松田 きみ



R.II

編集後記

臨床司牧の役割は「聞く」事が中心であり根本となっていない成らないと言います。患者は死あるいは手術を目前にして不安に成るであろうそれぞれの悩み、苦しみ、怒りを聞いて貰う事で、心の安らぎを得るからだと言います。広報の目的は中和田教会に関する情報を活用にして会員相互の理解と中和田教会の出来事を記録として残すことその内の一つだと思います。その為の必須条件は原稿(記事)の収集です皆様の協力をお願い致します。M・I



7月の行事

2日	委員会	ミリ後
16日	壮年会	"
	婦人会	"
	青年会	"

第139回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1989年7月2日

庭木の思い出

私の家族がここに住んで十六年になります。家の前に小さな庭があり、庭の中央にはソロの木が二株あって、それ以外の庭木はフェンスに沿って植えられている。これ等の庭木は私にとって、さまざまな思い出があります。

最初に、三十八年前名古屋にて私をカトリックへ導いて下さったミルバウル神父様と、二十年ぶりに横浜秋葉町教会でお逢いすることが出来ました。秋葉町には時々伺い、昔の思い出話や人生の在り方について話合ったり、庭木の枝払いや竹の子掘り等楽しい思い出がある。神父様が神戸海星病院へ入院されることになった時、大切に育てて居られたシンビジュームと、庭にあったホーリー（西洋ヒイラギ）とほらを取り今でも良く育てて居ます。赤いほらが咲く頃になると道を行く人が足を留めることもあり、秋になるとホーリーが赤い実をつけ、どこからともなく小鳥が来て賑やかに実をついばんでいるこんな時、昔ミリの後神父様のそばに集う信者の光景を思い出されます。次に、以前この教会の信者でおられた吉武さんから頂いた、ライラック かいどう どうだんつつじがあり、その時期になると大々きれいな花をつけてくれます。吉武さんは中国農学会との交流等で、度々訪中されておられ、中国でお逢いする機会があった。その中でも全く予期しない奥地でバツバツ達った時のこと、北京で夜更けまで酒を飲みながら語り合った時の思い出があり、静かに眺めていると吉武さんの人柄や友情が甦って来ます。最後に、私の家族が大変お世話になった隣のおじいちゃんが引越される時、小さな万両の苗木を頂いた。あれから三年、今までは大きく育って赤い実をつけて居ります。おじいちゃんはずっと自然が好きで、やさしい方でした。年末になると思えない人々のために、毎年小づかいの中から教会へ献金を続けられて居られた。この万両を見ると積極的な姿勢と思いやりの心と彫りの深い顔が思い出されます。以上の三人の方々はいかにこの世を去って居られますが、十六年間の歴史の中で沢山の思い出を残して下さりました。毎日が忙しい現代社会で静かな時間を持つ事は大切な事だと思います。私はすべてを忘れて静かに庭木を眺めている時、心が安らぎ、幸せを感じて居ります。

位田 義男

委員会だより

- 6月4日壮年会及び婦人会の各会長出席のもと集会室に於いて開催。
1. 親睦バザー開催日時について
来たる11/5(日)を開催予定日とし、諸準備を進めることとした。
 2. 中高生会報「蜀魄」の費用の件
さきに中高生会の会報作成のための経費(主として用紙代)に就き要請があり、全額教会会計より支出することが了承された。
 3. 献金箱設置の件
本年度信徒総会で提案のあった一般献金箱が出来上がり、早速聖堂内(入口)に設置することとした。献金箱の目的は月定献金(現在使用中のもの)とは別に一般の献金(随時自由意思による献金)に使用することとし、教区より定められた献金(例:布教の日献金等)については該当月に表示を行う。
 4. 夏期子供会の件
本年は8/10(水)~12(土)とし例年通り教会内で実施する。細部計画については、具体的検討後改めて告知される。
 5. その他
・教会報への寄稿依頼について(壮年会会長)
・教会史編集経緯の報告(小谷委員)
 6. 会計報告(5月決算)
詳細は会計又は広報委員のところにあります。



壮年会だより

6月12日 旧会議室にて開催、出席者15名

1. 委員会の概要報告
2. 親睦バザーへの協力について
・壮年会としては、テントはり、券の販売、材料の購入、花壇などの環境の整備、などで参加する。
3. 教会図書の本の購入をしよう!
・信仰の糧になる本の購入を主に)
・小中学生や青年向けを主に)
・7月8月に整理作業
・宮下神父様から小谷さんに委譲されたラテン語の書物なども教会へ
4. 教会外からの講師の招請を!
・年に一度位は呼んで、外からの新風を入れたい。
・まず壮年会から始め、教会全体へ。
・また苦しくならないように。
5. 最近の中国情勢報告(位田さんより)
位田さんの会社の北京飯店(天安門広場が一望できる)から帰国した事務所の体感談をニュースソースに、血の生々しい様子を報告してくれました。
10年来の開放制作で盛り上がり過ぎてきたカトリック北京教会の今後心配です。

★壮年会に新規会員入会
フランススコ・ザベリオ吉中哲哉さん
歓迎いたします。

婦人会だより

6月18日婦人会例会 25名出席
マリア 光藤菊江さんの通夜、葬儀には婦人会の方にお手伝いと最後迄ご列席下さいました事、ご遺族の皆様が大変感謝されておりました事ご報告致します。
新入会員紹介と委員会報告の後、バザーについて話し合いました。
・バザーの準備、本日は毎週火曜日になりました。
掃除当番の方へお願い
聖堂掃除後の雑巾は外に干すと風で飛びまわりのバケツに掛けて集会室内におく下さい。
婦人会費6月分迄未納の方1半期決算の為、ご納金をお願い致します。
7月16日例会当番は泉東ドリーム、深谷、汲沢地区の方宜しくお願いします。

青年会について

伊藤 久輝

青年会という集りは、これから教会を支えていくであろう人達の会です。だからこれからの活動は、神についての問題だけでなく、教会そのものの問題についても考えていかなくてはならないと僕は考えます。今までの会の活動について、僕はほとんど内容を知りません。だからあまり大きなことは言えないのですが、これからはできるだけ参加して、本質について考えていきたいと思います。
その青年会のメンバーですが、働いている人あり、学生ありでいろいろな人がいます。みんなそれぞれが予定があって忙しく、人が集まらない時もあります。そういう時は、ろくに活動ができませんかもしれないかもしれませんが、まだ日だった活動はしていないかもしれませんが、あたたかい目で見守って下さい。

お知らせ

山崎神父様出張の件
7/14(金)~16(日) 日本鉄道カトリックの会1周年大会に出席の為 秋田市へ。
16日の御ミリは、シュトルテ神父様(栄光学園)です。時間は午前7時と9時です。尚、土曜日(15日)夕方のミリ(7時)は、ありません。

輸入
フランススコ・ザベリエル 吉中 哲哉
アグネス 薫
泉区中田町1677-5 カーサ・グランド・ト
ミヤ 202 TEL(803) 7818

編集後記

皆様のご協力で、原稿が沢山寄せられ、嬉しい悲鳴をあげています。これからも宜しくお願い致します。恒例により8月は休刊となります。
梅雨明けも、もうすぐです。お身体に気を付けて、この夏を過ごされよう、少々性急ではありますが、暑中お見舞申し上げます。 M・1

1冊なるもの」に就いて ③

山崎 止俊

こうして玉垣のそばの、この石のベンチに腰掛けて、この世の全福を感じる。「私は本郷で生まれて、途中の十年を抜かしたが、ずっと本郷で過している。道が狭いので車も入って来ないし、昔のままのたすまいも残っているせいかここが安らかに息ができるからだ」と、この人は言う。父はその頃のお考えにしがた、五十で隠居して、故郷にかえった。そして、文鎮のように何もしないで、八十年の生涯を本家の真中にデンと座っていることになる。それでも、家の重石としての威厳があった。えらいものだ。

そこでの地主と小作人の関係などを見ると、たとえば、自分はタタミの上に座っているが、むこうはイタの間にいるかドマに立たされているというように、内心は不満を持つようになっていた。左腕がかった兄は母をとうして、父の跡を継ぐ意思のないことを申し出ていたが、早く亡くなって、次男の私が跡取りにされた。

その熊本の十年間のこと、新参者の異分子として、痛めつけられることとの戦いでもあったので、私にとっては強烈な印象を刻みつけられる青春となった。その時の影響が、言葉には標榜語も方言もないという自論などに、根強く残っている。「風浪」は、そのようにして形をなしたのだが、高校を卒業する年には、「二、二六」があっても、何をやる力もないままに、広い校庭の真中にひとり、ぼつねんと立っているような思いにとりつかれて、歴史の転換点にいた。

京都出の母は、熊本の旧家の嫁でありながら、ひとりでキリスト教の教会に行き、信仰を守るほどの強さを持っていた。それで、東京の大学に入ると、私は本郷のYMCAにはいり、十七年間をそこにとどまることになる。そこでは、森有正と八年間を共にし、眠れぬ夜を朝まで語り明かしたこともあった。山本安英さんに会うのもこの頃。

学者になるのを中止して、実作者をめざし、実際に民衆の中にある「マ」を受け留め、新劇と歌舞伎を一つにし、古典をそのまま現代に甦えさせようとの試みは、「子午線の上の祭り」。けれども、この本郷の土地は母の懐のように、私をくつろがせてくれる。あの民話の再話劇・おツルの純情の死は、ここにいたからこそ、生まれたのだ。

9月の行事

3日 委員会 ミサ後
 17日 壮年会 " "
 婦人会 " "
 レジオ 8 22 29



第 140 回

カトリック中和田教会
 広報委員会発行
 泉区 中田町 2701
 TEL 045-803-6141
 1989 年 9 月 3 日

中世の祭り

井上 昭男

ヨーロッパ中世期はクリスマス前の四週間を降誕祭期(待降節)といい世の救い主イエズス・キリストの降誕を待ちのぞむ時期だ。ヨーロッパ人の年の始めは一月一日ではなく、降誕祭期の第一日曜日から始まる。人々は肉類、バター、タマゴミルクなど魚介類をのぞくタンパク質を断ち、一切の娯楽をあきらめひたすら祈りと悔悟にあけられる。四週間後陰気な降誕祭期にやっとおさらばする日がくる。ケバケバしい衣装をまとった陽気なクリスマスがやってくる。人々は禁忌から解放され粗食に甘んじた四週間の恨みを晴らそうと飲めや歌えやのどんちゃん騒ぎを繰りひろげる。

寒さが薄らぎ冬をおしのけ春がやってくる。四旬節がやってくる。四旬節が王として君臨する四十日間、人々は一日二回の食事を一回に減らし魚とパンと水で命をつなぐ。荒野で四十日間断食して苦行し悪魔の誘惑に打勝ったイエズスにならおうというのだが、肉とタマゴを日々食していた人々にとって、これでいかに辛い苦行であったことか。人々はイエズスの偉大さを思い知り、おのれの無力を悟る。人間は弱さと愚かさゆえに神の子主イエズスを十字架にかけたのではなかったのか。イエズスは嘲笑され鞭打たれたあげく、罪深い人間の罪を一身に背負い死んでいったのではなかったか。人々はイエズスの最後の姿を心に刻みつけ、おのが罪を悔い、神の救いの手が伸ばされることを願う。長い断食の為弱りはてたころ輝く春の光とともに、黄金の冠をいただいた復活祭がやってくる。タマゴが肉が戻ってくる。サフラン色にこんがり焼けた豚の丸やきやローストビジョンが食卓に並ぶ。主の復活を祝う人々の笑い声が響きわたる。われらが主イエズスキリストの血がわれらの魂を不滅のものにしてくださいまうと、祈る人の姿が教会にみちあふれる。



秋田みやげ

山崎 正俊

◎この頃また聞く、「聖母への信心が薄れてきたような気がする。教会の指導層の一部の世俗化とか、キリスト教諸教派との一致を願うのあまりの配慮のせいだろうか」とは、どういうことか。それが、世間一般の科学至上主義への妥協だとしたら、あまりにも気弱すぎることだし、教会の名目上的一致が、聖母への信頼をあやふやにしてよいほどにも重要なことではないし、もしこの云い訳が真相ならば、それは、本末転倒もはなはだしいことだ。聖母が抜け落ちたキリスト教会は、その始めから、考えられないと、私にも思われる。◎秋田の湯沢台の聖母像のことについて、私は地元の司教として、殆んどすべての現象を見てきました。この目ではっきりと見たから、それをそのまま信じたのです。それを精神異常者が受けたと主張してある私的啓示もどきのようなものであるかのような断定は、必ずしも穏当なものではありません。公的啓示は、使徒たちのところで終わっている。それはそうです。沢山の私的啓示が、偽りのものであったことも、はっきりしています。けれども、神様はその後もたえず、人々に語りかけておられるのですから、何かの必要があれば、誰かに重要な啓示を明らかになさるはずですよ。それが本物かどうかは、司教たちの判断にまかされているのです。だから、私は、その当時のその土地の司教として、その見たまま感じたままを証言し記録して、ローマに書き送ったのです。――伊藤司教は、そのような意味の話をなされた。◎明らかに、いくつかの先入観にもとずいた悪意にみちた断定が、日本の司教団から正式に委任された神学者たちによってくだされています。新たに任命された教区長の司教は、後任をきめないままに、その指導司祭をおとりあげになりました。「それが、本物が偽物かをためす」ためのものならば、これは、ていのいい「残酷物語」◎ここ「湯沢台」のたたずまいは、それでも、何か特別のことをするでもなく、16年をもっと過ぎたいま、まだ、たえまない祈りと沈黙と忍耐の精神が、善意をもっておとずれの人を迎え送りしているだけ。――御聖体を中心にして、聖母がそうであった御姿にならっての、世の終りへの歩みをつづけているのです。

委員会だより

- 7月2日集会室に於いて壮年会1名婦人会より2名出席のもと開催。
1. 敬老の日(9/15)の件
例年通り該当する方々に(70才以上で約30名)お祝品を贈る事とした。
 2. 信者の方が亡くなられ時の対応について。
・出来る丈、当教会会員の式への出席をお願いする事、特に典礼、正、副、及び各委員、のいずれかが列席するように調整を行う。
 3. 夏期子供会の件(井上委員)
8/10、11、12、参加予定は10名、費用は一人、2500円、尚、教会より6万円の補助を行う。
行程:10日、教会に於いて初聖体等の勉強
11日、12日、丹沢(滝沢園)キャンプを予定している。
 4. 横浜教区宣教司牧評議会出席の件
7/9日、大船教会に於いて開催されるが、小谷副委員長が出席予定されている。
 5. 会計報告(6月次決算)
詳細は会計又は広報委員の所に有ります。

婦人会だより

朝夕はだいぶ涼しく成り、しのぎ易くなりました。8月は婦人会例会はお休み致しました。会員の皆様には、いつもご協力戴き、ありがとうございます。バザー準備のお願い
・家庭で新品の不用品等有りましたらご寄附お願い致します。
・毎週火曜日10時より集会室に於いてバザーの準備作業をしています。時間の都合のつく方どうぞ、ご協力お願い致します。又各自で得意とする作品のご協力もお願い致します。(材料費等、必要経費は遠慮なく申し出て下さい。)
新入会員の紹介
若水 ヒデ さん 汲沢地区
9月の例会は17日、当番は踊場地区です。

ナカワダの教会への手紙

高橋 綾

(兄弟の皆さん)毎月第二週目に行う例会もほとんど開かないあの青年会が、この夏、藝科で暇嬉学校を行いました。内容としては、「遊ぶ」ということだけで、特に「神さまについて」とか「生活の兒直し」などは考えませんでした。大学のサークルや、学校の友人同志の遊びののりに近いものはありましたが、教会の青年として大勢で一つの事をしたのは、これが初めてでした。でも、今の青年会のみでは、一つの楽しみ場としての存在だけで終わってしまいうる。壮年会や婦人会の皆さんは「青年会は頑張りませぬ。」とおっしゃいますが、青年会のしている仕事は教会のあたりまえのことですし、青年会として動かなくて良いことばかりなのです。【青年会の皆さん】もう一度、夏、藝科で何してきたのか考えてみて下さい。【中高生の皆さん】何の為にみんなで集まって話し合いをするのかをもう一度考えてみて下さいこの教会は僕達の教会です。忘れないで下さい



編集後記

お久しぶりです！皆さん夏休みはいかがお過ごしでしたか？これから季節の変わり目に入ります。皆様くれぐれもご自愛の程を！

寄稿戴いた、壮年会の上野さん、青年会の小山君、高校生会の武田君、紙面の都合で掲載を来月号にさせて戴きました。本当にゴメンナサイ！

壮年会だより

- 7月16日ミサ後開催、出席者13名
1. 委員会概要報告
 2. 講師招請が決定
・9月17日(日)9時のミサ後
・講師は堀部隆二先生(藤沢教会所属)
 3. 壮年会懇親会の開催について
 4. 教会史の編さんについて
 5. その他

壮年会懇親会が盛大に行われました!

8月20日のミサ後、壮年会員14名が集まり、庭の手入れをした後、楽しい一時の懇親会が開かれました。青年部8名が急遽応援に駆けつけてくれたり、武田さんが今年もトラックを出してくださったりして、庭の手入れが大車輪でできました。したたる汗を流しながら会食へ。石井さん武田さん、神父様からは特別な差し入れもあり、会が一層盛り上がりしました。位田さんと楠田さんの奥様にはその他のお世話をいただき、ありがとうございました。

お知らせ

- 初聖体(8月13日)
ミカエル 島倉 宏和
ルドビコ 沼尾 真哉
- 転入
ヨゼフ 山崎 哲(さとし)
綾瀬市深谷6817-5 (0467-76-8939)
- 新住所
フランシスコ・ザベリオ 山中 繁(かおる)
戸塚区矢部町1666-59 (045-863-0936)
(和泉地区)

10月の行事
(ロザリオの月)
1日 委員会 ミサ後
15日 壮年会 " "
婦人会 " "
青年会 " "
レジオ 13 20 27
毎週日曜日 8:45より
ロザリオの祈りがあります。



第141回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1989年10月1日

仕事を通して思うこと ①

上野 厚

私は、神奈川県警察の科学捜査研究所ということで犯罪心理学関係の仕事をしております。私が関心を持っているテーマの一つに放火犯罪に関するものがあります。冬期になると、新聞やテレビで、数年間に、何十軒もの他人の家屋に放火を繰り返していた連続放火犯人が逮捕されたと報道されることがあります。火災保険金欲しさに自宅や所有物に放火するというのは動機としては理解できる部分がありますが、赤の他人のそれらに放火するというのは、普通には、理解し難いことです。ところが、放火の発生件数全体で犯罪者と被害者の関係を見ると、全くの無関係というのが圧倒的に多いのが現状です。

人は、何故、一見無益とも思われる他人の家屋や所有物に放火するようなことをするのか。その動機のメカニズムや人について考察すると、背景には時代の流れや社会の動向があり、これらと無関係ではあり得ないことが伺われます。そこで、放火犯罪者の典型的な動機と犯罪者像を中心に、日頃、考えることを述べてみたいと思います。

放火犯罪者全体の直接的な動機で一番多いのは「人間関係から生ずる不満を発散するため」で、次に「人に対する恨みや怒りから」となり、この二つが動機の70%以上を占めており、その典型といえます。

この二つの動機は、当然のことながら、人間関係の不調和がその基盤にあり、そこから生じています。そこで、それらの動機が生じた具体的な要因をみると、職場での<雇用主、上司、同僚関係のトラブル>が要因となったものが約45%と最も多く、次に、<親子関係>、<夫婦関係>、<近隣関係>のトラブル等々となつてきます。職場でのトラブルの要因を詳細にみると、仕事が出来ないと馬鹿にされた、叱られた、悪口を言われたとかの、大抵の職場でよくある、取るに足らぬごく些細なことです。もともと、犯罪者には社会に全く適応していけない人が多いのですが、放火犯罪者もその例外ではないことを示しています。親子関係のそれは、結婚、進学、就職、独立して一人住まいすること等に関する意見の対立であり、夫婦関係のそれは、夫や妻の浮気、愛人の存在、子育て、老人同居等に関する意見の対立である。また、近隣関係のそれは、隣近所に家族の悪口を言いふらした等が原因となっています。

考えてみると、これらのトラブルは、大なり小なり、誰にでも起こり勝ちなことなのですが、何故、放火という行動に飛躍するのでしょうか。次回はこのことについて考えてみたいと思います。

YCSに参加して



高校生会 武田 光信

まずYCSとは何か? YCSとはYoung Christian Student、の略で、キリスト者の若者たちという意味で、スローガンは、Option for the poor (貧しい人の側に立つ) Review of life (生活のふりかえり)で、この2つのスローガンを目標として、活動しています。

今回、私は、YCSEAS (YCS東アジア大会7/25~8/6)に行ってきました。

私は、その中で、いろいろなことを体験し、そして学んできました。最初私はやはり英語にとまどいました。最初の3日間は、相手が何を言っているのかもわからずに本当に苦労しました。しかし、日がたつにつれ、それは、なくなりいつの間にか相手の言いたいことなどがわかるようになりました。

私が一番体験してよかったと思うのは、エクスプローブプログラムという、一種のホームステイのようなもので、私は、マンドリンしか話せない家庭(農家)に行きました。そこで私は、このYCSEASで一番大きな、そして、大切なものを学びました。それは「心を開け! そうすれば言葉など関係なく道(人間関係)も開けていく!」とその主人に言われてとても心に残りました。

それからです、YCSEASの本質や、新しい仲間作りの道が開けてきたのは…私は話は全々できないけれども、体で、目で、そして、心で自分の考えを他の国(TAIWAN・HONG KONG・KOREA)の人々に伝えました。そして、私という日本人が参加していたことを忘れないでほしいので、いろいろな人々と対話しました。

その結果、それは成功しました。YCSEASから帰って来た今日、TAIWANの一人から手紙が届きました。それには「私を忘れていませんか? 私は永久にあなたを忘れません。」と書いてあり、私はそれを読んだとき、本当にYCSに参加してよかったと心の底から思いました。

「YCSは、あまりにも日本人の人々に知られなすぎると私は日本に帰ってきてから思いました。これを機会として、これからも、YCSにそして、このような活動には、積極的に参加していきたいと思ひ、それと同時に、みなさんにYCSという世界レベルでの話合いの場があるということを知って欲しいのです。

最後に、私が、YCSEASで学んできたことは、「心を開く」ということと、「物事を神学的目で見ると」という二つのことでした。

台湾の山岳民族

小山 雄悟

日本人の台湾旅行というと、大概は台北市街の繁華街のショッピングなのですが、今回は繁華街での活動は殆どありませんでした。しかし、体験学習の期間中、運よく山岳民族の人々と生活することができました。

ところで、山岳民族の中年以上の人々は皆、日本語を話します。戦争で日本軍に占領された時に強制されたためです。でも彼等は日本に好意的です。それは、彼らが蒋介石の軍隊によって山間部に追いやられた台湾の原住民であり、日本政府に助けられていたからです。そんな複雑な歴史を背負った彼らに、「日本人が来てうれしい。若い人と日本語で話せてうれしい」などと中国語なまりの日本語で話しかけられると、何ともいえない心境になります。また彼らは日本についてもよく知っていて、かなり文化的な生活を送っています。『美空ひばりin武道館』などのビデオを持っていて、小林旭との仲がどうのこうのと言っていました。来年は衛星放送をいれるそうです。

日本語を話し、日本名を持ち、日本人と似た格好をして、日本に近い文化・環境で生活する人々と二日間共に過ごしていると、台湾の中にも一つの日本があるような錯覚を覚えてきます。しかし村の過疎化が進み、若者は殆ど街へ出ていってしまいます。この先村はどうなってしまうのでしょうか。台湾から日本語が消えるのは、そう遠くはなさそうです。山岳民族に大変お世話になったおかげで、この村の将来にやりようのない悲しみを感じつつも、過去の戦争の傷の大きさを恨んでしまいません。せめてお世話になった人達の名前だけでも記録に残しておくことにしました。

シマズ・フミオさん、キタムラ・カンタさん、マツムラ・キヨコさん、本当にありがとうございました。



委員会だより

- 9月3日集会室に於いて開催。
- 1、敬老会の件 本年も従来の通り対象者30名の方々(当教会信者で同居される70歳以上の方)にお菓子と御絵をお送りすることを確認した。
 - 2、バザーの件 11/5(日)予定の懇親バザーについて、壮年会、婦人会、青年会のバザー予定企画案を次回10/1(日)開催の委員会に提示して戴くこととした。
 - 3、教会誌の件 グラ刷り(聖母の騎士社)が出来上がり送付されて来たとの報告が編集委員会よりあった。当委員会としては、総編集案が出来た段階で意見を纏める予定である。
 - 4、スリッパ購入の件 婦人会より新しい物と買替えたいとの要望があり了承された。
 - 5、会計報告 7、8月の報告は来月まとめて行われます。

壮年会だより

9月17日のミサ後、壮年会に新風を! というので、講演会を開きました。講師は、藤沢教会所属の堀部先生。清泉女子学園の音楽教師で、聖歌隊指揮者、要理研究、結婚講座など、他方面で活躍されている方です。出席者13名。先生の自伝を元にした熱弁に、一同多くの感銘を受けました。

信徒の在り方を考える—私の実践から

- ・芸大声学科在学中、教会音楽の勉強、聖歌隊指揮、要理研究を始める。卒業してすぐに受洗し、結婚(奥様は未信者)。藤沢教会へ。茅ヶ崎教会で、聖歌隊の指揮者。
 - ・10年後、グリフィン神父様の依頼で要理教育の講師に。毎週水曜日の夜、仕事の後でつらいが、終わるといつも「よかった」と思う。奥様と深いところで許し合えるようになり、奥様も受洗。
 - ・神父様の依頼で、結婚講座の講師に。
 - ・現在、自らの希望で、清泉女子学園の職員向けの要理教育講座の講師もしている。
- ★信じる人は、人を受け入れ、人と深いところで交わるために、日々の訓練が必要!
- ★神様に本当に愛されていると実感できないとだめ!
- ★奉仕しない信者にはせもの! 中和田教会にも何かその運動が起こるといいですね!

婦人会だより

- 9月17日例会を行いました。
- 1、委員会報告
 - 2、バザーに関して
 - ・日曜日9時ミサ後食券を発売します。
 - ・11月4日前日と5日当日のバザーのお手伝いして戴ける方、記入表に記入をお願い致します。
 - ・新品、不用品、着れる古着等もご寄附下さい
- 今月例会は15日、当番は岡津白百合地区

お知らせ

- 洗礼 7月2日 ユスト武石 勝末 (生後2ヶ月)
- 結婚 9月9日 フランシスコ・ザベリオ 石崎 信
長谷川 博美
泉区中田町1012 ハイツ・イクヤ203
電話 801-2889
- 今年の七・五・三の祝別は11/12(日)9:00のミサの後続いで行います。

ドゥバル神父様(ブラド一会)のミサ
11月5日(日) 7:00 9:00
(フランス リヨンより来日)

11月の行事

5日 バザー ミサ後
 12日 委員会 " "
 19日 壮年会 " "
 婦人会 " "
 青年会 " "
 レジオ 10、24、
 18 (クリア集会)



第142回

カトリック中和田教会
 広報委員会発行
 泉区 中田町 2701
 TEL 045-803-6141
 1989年11月5日

仕事を通して思うこと ②

上野 厚

前回述べた人間関係の不調和が基盤となった動機で、他人の家屋や所有物に放火した人に聞いてみると、一回だけの人も連続して犯した人も、最初の放火の時は、「(人とのトラブルが原因で)イライラして心の鎮めようもなくなって道を歩いていると、目に入った家屋に知らぬ間に火を点けていた、ハッと我にかえって火が燃え上がるのを見てみると気持ちがスーッと心落ち着くのを感じた」と話す人が多くいます。この場合、放火行動は、彼に対して、イライラして高まったやり場のない緊張感を解消ないしは緩和させるために働いたと説明できます。人間関係の不調和が基盤となっている動機での放火は、殆どの場合、意識的に行われるにせよ、無意識的に行われるにせよ緊張感の解消ないしは緩和のために行われています。では、連続的に何件も放火する人はどうなのでしょう。長期間に亘って何件もの放火を繰返す人は、一回目の放火後、悪いことをしたという悔悟の念と警察の逮捕を恐れて、二度とやるまいと決心するようですが、職場や家庭などで人とのトラブルが原因でイライラしてやり場のない緊張感が高まってくると、心の落ち着きを求めて、ついつい、繰り返してしまうというのがよくみられるケースです。つまり、連続放火犯罪者の場合には、「トラブルの発生→緊張感の高まり→放火行動→緊張感の解消ないしは緩和」という行動様式がパターン化していると言えます。

ところで、犯罪学の通説では、アルコールは心理的な抑制を解除するところから犯罪との相関は高いとされています。放火犯罪においても、その例外ではなく、約60%近くが飲酒後、犯行しています。これは、緊張感を解消ないしは緩和させようとして飲酒するが、逆に、アルコールがイライラした緊張感を高めさせるためであり、アルコールが犯行への引き金になっています。飲酒さえしなかったならば、放火しなくて済んだのではないと思われるケースが多くみられます。日本では、誰でも自由に自動販売機で酒類を買うことができますが、外国では、販売方法が規制されているところが多いようです。アルコール中毒者の問題も含めて考えるべきだと思います。

さて、放火犯罪者を動機の内面から考察してきましたが、私は、ケースをみる度に、私達は犯罪とは無関係であるように思っている、日々の生活において、無意識のうちに、人に犯罪を犯させる契機を与えるような言動をしていないか。また私達も、何時、犯罪を犯すかも知れない可能性をもった、弱い存在ではないかと自戒させられます。今回は犯罪者像について考えてみたいと思います。

神様と私の対話

洗礼を受けるために兄弟二人で要理の勉強を始めました。いよいよ洗礼の式となり、聖水をかけるおわりの時になって、弟の方だけ洗礼を受けるのをやめたと言って、聖堂を出てしまひ、兄だけが受洗したと言う、数十年前の実話があります。この兄弟は、同じ神父様に、要理のお話を、同じ回数、全て同じように、お話を聞いて、準備をしました。では何故この様な結果になったのでしょうか?

それは神様しかご存知ないことです。私は日常生活を反省してこの実話について考えてみました。受洗した兄は心からイエズス様のことを知りたいと望み要理を勉強しましたが、弟の方は信者になったら得ることの出来る現実的な目的があったようです。そのために悪魔のさそいに負けたのかもわかりません。同じように学び、同じように祈っても、心からするか、しないかで、最終の結果は、大きな差がついてしまうように思えます。一つの善い行いをする時でも、御聖体のイエズス様と一緒に、神様を愛するためにと目的をもって行動する人と自分に利益があるから、名譽のためにと、現実的な目的で行動する人とは前者を神様は愛されることなのでしょう。他人の視線(目)を考えたり…習慣的に…いやいやで行動することや祈るのでなく、本当に心から祈ることが出来たら、どんなに、日々が楽しく、心の平和が保てることだろうと考えます。

バトロ 大水 候雄



「かきがっこうに 行って」

一ねん たけいし なみこ

きょうかいの きゃんぷに いきました。かわで みずあそびを しました。みずが つめたかった。はんごうで たいた ごはんを たべました。おいしかった。よるは みんなで はなびを しました。ばんがろうに とまりました。つぎのひは さかなの つかみどりをしました おもしろかった。わこんしゃにのせてもらって かえりました。



委員会だより

- 10月 1日 集会室に於いて開催。
- 1、バザー開催の件 11/5(日)開催につき壮年会、婦人会、青年会より各代表に出席ねがい、各会の計画内容について次の通り説明と質疑が行われ各原案は了承された。
 (委員会) 本年も従来通り信者間の親睦を中心としたバザーとし規模も同様の考えている。
 (壮年会) 内容、規模は基本的には従来と変わらない計画しているが、バザー前日の説教を含めて10月の壮年会に於いて具体的問題を検討する(婦人会) 概ね例年通り、内容は次の如く予定している。
 ・衣料品(古着を含む)・手芸品・民芸品(修道院より依託でフィリピンの民芸品)・クッキー等(聖堂内使用)
 ・食物類一おでん 250円、カレー 300円
 紅茶・ケーキ 150円(集会室1階使用)
 野菜、花類(前庭使用)
 尚、食券は10/1(日)以降毎日曜日9時のミサ後発売します。
 (青年会) カーレース(会議室使用)
 チョコ・バナナ販売。
 - 2、次期委員会委員の任期が来年1月開催予定の信徒総会で切れるため、新委員の推薦を壮年会婦人会に対し委員長より要請があり種々意見がかわされました。本日は結論は無く、壮年会、婦人会での検討が要請された。
 - 3、会計報告(9月次決算)
 詳細は会計又は広報委員の所にあります。
 (注) 11月度委員会は11/12(第2日曜日)に開催予定。

壮年会だより (10月15日開催。出席者11名)

- 1、委員会の報告
- 2、バザーへの壮年会の協力の仕方
 ・前日(11/4)は、シート敷き、テントはり、材料の買いだし
 ・当日(11/5)は、出店の仕事
 ※壮年会の出店は、焼き鳥、焼きそば、イカ焼き、花野菜精肉です。
- 3、次期委員と委員長選出の件
 東原委員長御自身より今期で辞任したいとの意向が出されました。その理由としては、司教様から「教会のマンネリ化や委員のボス化を防ぐために、委員の任期は最大6年までとするように」との要請があったが、すでに委員長になって10年以上になるということなどでした。
 これに対して、清水壮年会長などから「現在東原委員長の元で教会が安定し、大変良い状態にある。委員長を続けて欲しい。」との意見が出されたり、「ある程度で交替して行くことは必要。」「東原委員長でまともってきたので、それを尊重していける人を希望。」「代理を作っておいて、交替して行くとスムーズに行く。」等の考えが出されました。
 「結論は、楽しいバザーがすんでから」ということになりました。



婦人会だより

- 日増しに秋の深まりを感じる頃となりました。10月15日、29名の出席のもと例会を行いました。協議事項は
- 1、バザーの前日と、当日のお手伝いの依頼。
 - 2、バザー当日使用の紅茶、砂糖及び紙袋の寄付のお願い。
 - 3、11月17日(金)10時より、婦人会で死者の為のごミサをお献げしますのでご参加下さい。
 - 4、来年の役員、地区委員の決定を11月19日の例会までお願い致します。
 11月の例会当番は中田地区です。

お知らせ

転入

ミカ1ッ 小川 和恵
 住所 1飯田町2112-5
 電話 803-1465

12月の行事

3日 委員会 ミサ後
 10日 青年会 " "
 17日 壮年会 " "
 婦人会 " "
 レジオ 8 15 22



第 143 回

カトリック中和田教会
 広報委員会発行
 泉区 中田町 2701
 TEL 045-803-6141
 1989 年12月 3日

とっておきの話

50年前庭先から我が家を訪問したUFO

こんな話をやたらにすると、頭がおかしいとおもわれたり、有りもしない作り話しとおもわれるので、今まで誰にも話さずに、記憶の中にとどめていたのですが最近TVでも UFO のことが時々話題になるようなので、50年前の出来事として、聞いてください。

UFO研究家の間で「UFOとははかの宇宙から知的生物を運んで来るもの」というのが通説だそうですが、私にはよくわかりません。最近の話題では、彼ら宇宙人が地球人の身体検査をしたとか、土壌サンプルを採取したとか、軍事施設を調べたとか、一方的な話してあまり友好的なものはありません。

さて 私の経験ですが…

1935年の頃と記憶しています。まず当時の情景からお話ししますと、私の生家は横浜の磯子にあり東南の向きに庭があり、そこに 栗 柿 などの木があり近所では子供たちの遊び声がする、いまでも昔の面影を残す、ごくふつうの住宅街の一軒です。その庭に、この話のポイントとなる、八重櫻の木が一本あり、その日満開の花をさかしていました。花の咲きぐあいから、季節はたぶん5月頃と推測します。(1935年 5月)

その日は非常に暑く、昼頃には真夏つのような気温になり、庭に面したガラス戸明け放し、シャツを脱がされて八畳の部屋で、一人であそんでいました。家の中には 私ひとりきりで、外で母が洗濯をしていたと記憶しています。

こんな情景のなかで、時間としてはほんのわずかの間の出来事が、いまでも忘れないことになりました。

何かの気配を感じて 何気なく庭先の空を見上げました、先程の八重櫻の木の上をかすめて、2台の物体が上空から私のいる部屋めがけて、まさに飛び込んでくる寸前でした、音もなく かなりのスピードでした。

そして そのまま明け放した庭先から 私のいる部屋に侵入してきました。2台はスピードをおとし、前後に並び 私の周囲を左側から後ろを、ぐるっと回り 部屋の何処にもぶつからず、右側にあったタンスの前 私の右前方1メートルの空中に、交差点で車が止まるように、2台連結しているように同じスピードで止

まり空中にとどまりました。大きさは 直径60センチ位のドラ焼き型で色は緑色 音も光も熱もなく、ブーとそこにとどまり 静寂のなか、私はその物体を声も無く見つめ 向こうも2台ともそのままの状態、空中から私を観察している様子でした、向かい会ったままの緊張状態がつづき何が起るか恐怖心がだんだん高まり、体がふるえてきました…。数分間 身動きも出来ず座りこんでいました。しかし彼らはやがて平和的に、そのままの形で静かに、すーっと元の庭先から 八重櫻の上を越えて飛び去っていきました。母はこの出来事をしんじなかった。気が付くと相変わらずの暑さだが部屋の中は、何の変化もなかった。

さて、話はこれだけのことですが 近ごろ時々 UFO が話題になります、部屋の中まで入りこんだ話は聞かないので、彼らも地球人のエチケットを、心得たのかも知れませんね。

私は UFO についてコメントするつもりはありません。とっておきの体験話として、後は忘れてください。

今回は 高度情報社会 について考えたいとおもいます。

甲斐 至信

「一杯のかけそば」異見

ある週末の朝、コーヒーを飲みながら好きな音楽を聞いていた時、家内が私の姪の三番目の子供の誕生祝いで何を贈るかの相談を受けました。私は姉が「祝物はお互い色々気を使い苦勞するので今回は気にしないで。」と前々から言っていたのを思いだして、姉がこう言っているんだからパスしてもいいんじゃないか？ 家内は、贈るべき、私は要らない、で会話は平行してました。しばらくして「何かの機会に考えると、今回は不要」と私は結論しました。

ある物事を決めるときに、権力(責任)を持った人の提案なり要求で決定されるケースが多いと思います。そして、これは一般社会で家庭から職場を始め公私に及ぶあらゆる組織(町内の同好会から国際的なボランティアに至る迄)に於いて生じている事柄であります。勿論これらのケースの全てが問題(間違い)だと言うのでは有りません。

「一杯のかけそば」この童話が有名になりだして、当然この著者の生立ちが話題になりました。そして、この本が出版される以前の生活態度等がマスコミから報道されるに及んでその評価が急速にトーンダウンしていった経緯がありました。

テレビのある報道番組のニュースキャスターは番組の中で「今年上半期で話題になったベスト・テンから論外(著者がうさんくさい人間だから作品も評価に値しない)だと言って除外しました。

仮に作者が極悪人とか、聖人だったら いや、むしろ、初めから作者の素性が明らかにされていればその評価は変わらなかったのか、それとも、最初から認められなかったのでしょうか。

私はこの作品と出会った時の感動は今でも強く残っているし、その時の感動こそが純粋な(正しい)ものだと思っています。又、多くの人々が感動したからこそ大きな反響を呼んだと言う事実がここにあると思います。

これは組織の中での物事の決定とは多少異なりますが、共通している事柄、そして最も大切な事は、「誰が」ではなく「何が」正しいかだと思います。

次の週の同じような朝、音楽を聞いていると、家内がコーヒーを入れながら「昨日、姪とお姉さんからお礼の電話がありましたヨ！」そして、姪もそうだが、姉の方が喜んでいたとの話を聞きました。

石井 三雄

委員会だより

11月12日集会室に於いて壮年会1名、婦人会より2名出席のもと開催。

- 1、七五三の祝別の件 本日ミサ後に行われた。男子4名、女子1名が山崎神父様より祝福をうけました。
- 2、共同告解12/10(第2日曜日)ミサ後 ウルフ神父様
- 3、クリスマス関連
 - ・ミサ前に寸劇(子供達による)を予定
 - ・ミサ後のパーティーは例年通りの内容とするが、詳細に関しては壮年会、婦人会に検討して戴く。
- 4、浄化槽整備の件 点検の結果不都合な箇所は整備する事とした
- 5、教会案内板の補修の件 早急に整備する様に要請があり、これに関して速やかに対処する事とした。
- 6、会計報告(10月次決算) 詳細は会計又は広報委員の所にあります。
- 7、教会施設内の集会室/台所間の廊下にある段差が危険なので検討して欲しいとの要望に対して善処する事とした。

1990年から元旦は守るべき祝日となりました。つまり、曜日に関係なく中和田教会の元旦のミサは7:00と10:00となります。因みに1月1日は当教会の保護の聖人「神の母マリア」の祝日でもあります。

壮年会だより

(11月19日開催 出席者13名)

- 1、バザーが壮年会部門でも史上初の実質黒字。
- 2、委員会の報告
- 3、次期委員及び委員長選出方法で一致

この件については今回も長時間の話し合いがなされました。従来の委員の選出が「他にいないので、またお願いします」というようなマンネリ化を招きやすい経緯でなされて来たことを反省し、次のような選出方法を採用することで一致しました。

- ①「カトリック中和田教会運営基準」の規定に基づき、教会委員選出委員会(主任司祭、壮年会長、婦人会長、青年会長で構成)を設置し、立候補者を募り、推薦活動を行う。
- ②現在の7人の委員に、新たに壮年会と婦人会から2・3人を加えて構成する。今後は青年会からも委員を選出し、活躍に期待する。
- ③委員長は委員会で互選する。委員の役割りは、委員会で分担して決める。各委員の役割責任は明確にする。

4、壮年会で大掃除をする(12/17のミサ後)

5、新年会を1月の例会の日に行う。

★今年度分の壮年会費をまだ完納していない方は、12月中にお願いします。

婦人会だより

- ・ 11月5日 皆様方一人一人の暖い御協力により楽しいバザーを行う事が出来ました。有難うございました。
- ・ 11月19日 例会とバザーの反省会を36名出席で行いました。
- ・ 12月10日 今年度と来年度の役員会を合同で行います。
- ・ 12月16日 午前9時30分より例年通り大掃除を行います。
- ・ 12月23日(土)午後1時よりクリスマス用の豚汁作りを致します。ご都合のつく方ご協力お願いします。
- ・ 新入会員の紹介 ミカエラ 小川和恵さん お住まいは上飯田いちょう団地地区です。

- ・ 17日例会の当番は下和泉下飯田地区です。

おしらせ

- ・ 12月10日(日) 待降節の黙想とゆるしの秘跡 ウルフ神父

年末年始のミサ

- ・ 12/24(日) クリスマスのミサ 20:00 主日のミサ いつも通り
- ・ 25日(月) クリスマスのミサ 10:00 31日(日) 主日ミサ いつも通り
- ・ 1/1(日) 90年から守るべき祝日となります。7:00と10:00 尚ミサ後、年賀祝杯があります

- ・ 11月12日 七、五、三のお祝い

武石 奈美子
 " 真太郎
 " 由佑紀
 岩淵 宏毅
 藤田 裕介